



史跡がささやく藤の木ロマン ～団地の下に眠る古代遺跡を中心に～



ここから弥生土器がでた～！



かつて、藤の木団地造成時に

弥生時代の土器、竪穴式住居跡、貝塚などの遺跡が出土したのをご存知ですか？

紀元前3世紀から紀元後3世紀まで続いたとされる弥生時代に、藤の木には、既に人々が住んでおり、コミュニティを作り、生活していたのです。弥生文化が花開いていた土地の一つだったので

す。
そんな遺跡の上に住んで生活している私たちですが、悠久の歴史の中で、綿々と続いてきた古代の藤の木に住んでいた人々の暮らしや生活を想像しながら、周辺の遺跡も含めて、思いを当時の世界へタイムスリップしてみませんか？

<日 時> **10月30日(金)** 13時30分～15時30分

<講師・テーマ> **・笹利迫田遺跡について**

～発掘の経緯、出土したものからわかる弥生時代の地形・暮らし～

(講師) 公益財団法人埋蔵文化財調査室 調査研究員

順田 千織さん

・佐伯区ロマン～古代の藤の木とその周辺地域～

(講師) 大学講師・郷土史研究家

河濱 一也さん

<対象・定員> 成人 40名

<申込・主催>

(公財)広島市文化財団 藤の木公民館

(住 所) 広島市佐伯区藤の木二丁目27番7号

(電話&FAX) 082-927-2496

(Eメール) fujinoki-k@cf.city.hiroshima.jp